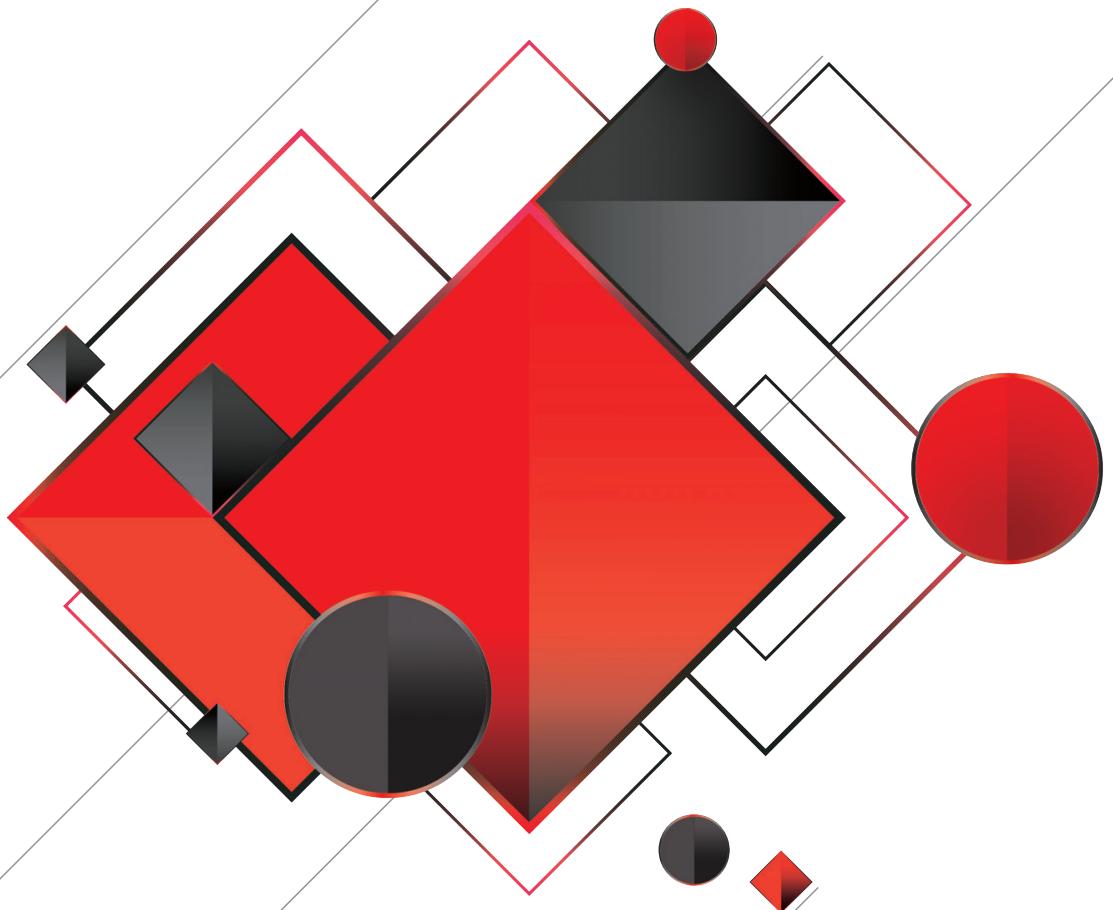


THK

第47期 報告書

2016年4月1日 - 2017年3月31日



経営理念

世にない新しいものを提案し、
世に新しい風を吹き込み、
豊かな社会作りに貢献する

代表取締役社長

寺町 彰博



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

当期においては、中国をはじめとする新興国において経済成長が鈍化する一方、欧米を中心とする先進国経済は回復基調となり、世界経済は緩やかな回復が続きました。当社においては、これまで強化してきた事業体制を活かしてグローバル規模で積極的な拡販に努めました。また、輸送機器事業のさらなる拡大を目的として、2015年8月31日よりTHK RHYTHM AUTOMOTIVE (TRA) 4社を連結対象としています。これらの結果、連結売上高は前期比13.8%増の2,735億円となりました。利益面では、円高の影響を受ける中でも、売上高を増加させたことなどにより、営業利益は前期比6.4%増の246億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比23.2%増の167億円となりました。

世界経済の先行きには不透明感が続く一方、IoTをはじめとするテクノロジーの発展により当社を取り巻く需要環

境は回復しつつあります。そのような中、当社では基本戦略である「グローバル展開」と「新規分野への展開」に加え、IoT、クラウド、AI、ロボットを徹底活用する「ビジネススタイルの変革」を成長戦略の柱として掲げ、事業展開に注力しております。

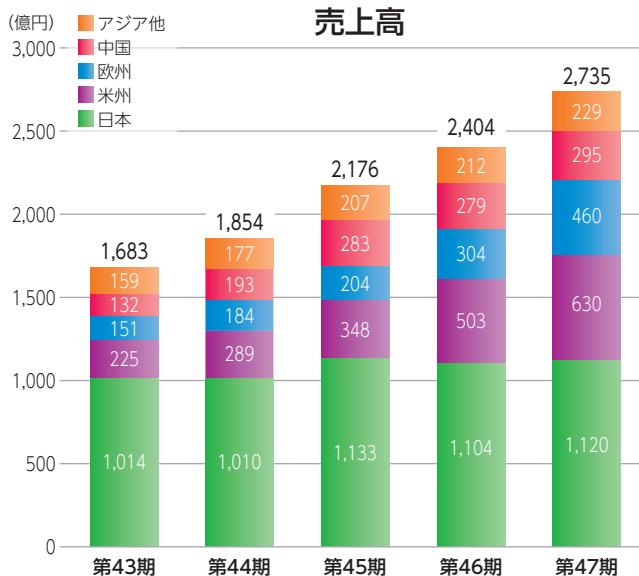
産業機器事業においては、各種ITツールを活用した効率的な営業活動を推進するとともに、生産面ではIoTを駆使しグローバルでの生産を見える化するなど、さらなる生産性の向上を図っております。

輸送機器事業においては、L&S（リンケージ アンド サスペンション）事業のさらなる拡大を図るとともに、直動システムのコア技術を応用した自動車向け新製品の開発・販売を加速させております。

これらの取り組みにより、さらなる成長と企業価値向上を実現させてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト



※地域別売上高は海外売上高ベースです。

日本 ▲ 1%増

積極的な営業活動を展開するとともに免震・制震装置や医療機器、再生可能エネルギー、ロボットなどの新規分野の開拓に努めました。そのような中、エレクトロニクス向けの需要が増加したことなどにより、増収となりました。

米州 ▲ 25%増

製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、エネルギー関連など新規分野の開拓に努めました。そのような中、エレクトロニクス向けなどにおいて需要が堅調に推移したことに加え、米州地域のTRA2社を連結対象としたことなどにより、増収となりました。

欧州 ▲ 51%増

製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、ロボットなどの新規顧客を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。それらに加え、欧州地域のTRA2社を連結対象としたことなどにより、増収となりました。

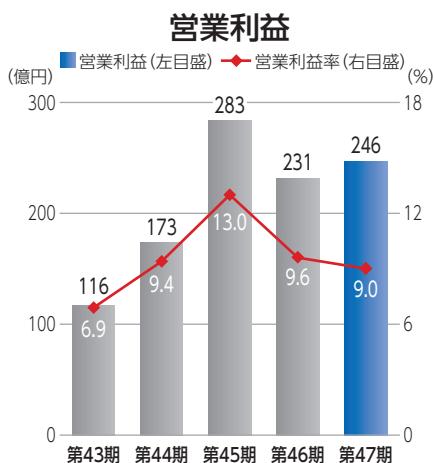
中国 ▲ 6%増

これまで強化してきた販売網を活かし積極的な営業活動を展開したことに加え、経済成長が鈍化する中でも期の後半にかけて全般的に需要が増加したことなどにより、増収となりました。

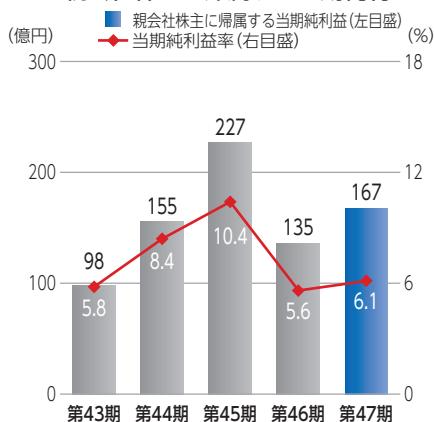
アジア他 ▲ 8%増

ASEAN及びインドにおいて販売網の拡充を進める中、既存顧客の深耕を図るとともに新規顧客を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。加えて、一部地域で中国の需要回復の影響を受け、需要が増加したことなどにより、増収となりました。

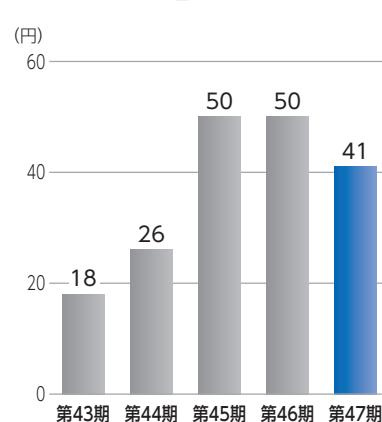
※各地域の増減率は前期比です。



親会社株主に帰属する当期純利益



配当金



中期的な成長に向けた取り組み

産業機器事業

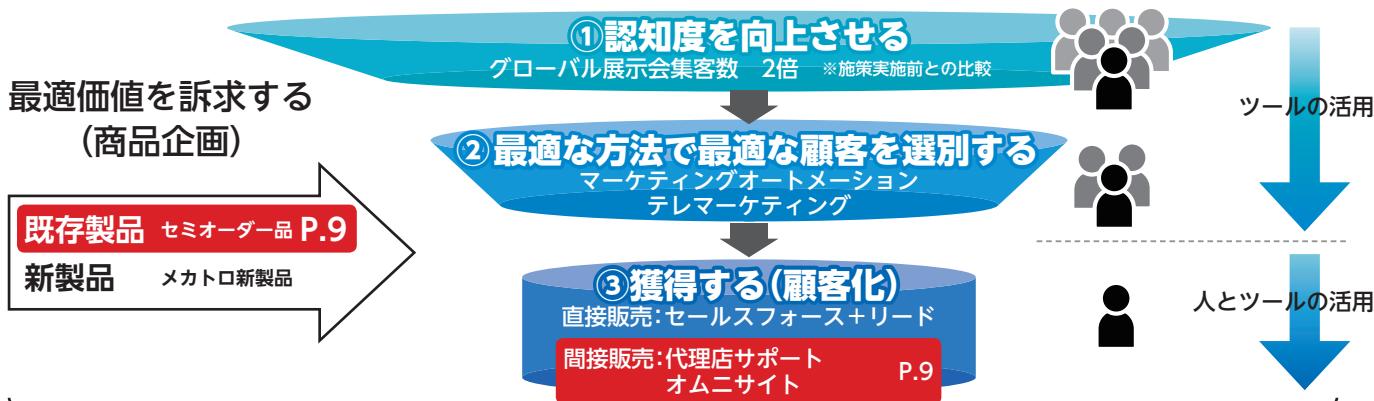
産業機器事業では、従来から注力してきた装置メーカーが生産する量産機向けに加え、これまでのマーケティング活動により新たに見えてきた幅広い顧客向けの市場で既存製品および新製品の販売活動を強化しています。

加えて、生産ラインのロボット化・自動化のみならず、IoTを駆使しグローバルで生産を見える化するなどの生産性向上に向けた取り組みにより収益性強化を図っています。

幅広い顧客向け販売拡大の取り組みでは、展示会などにより当社の認知度をさらに高めるとともに、各種ITツールを活用した効率的な営業活動を推進しています。それにより、お客様へのアプローチを強化するだけでなく、ニーズを汲み取り、新製品開発や新たな販売方法への展開につなげていきます。販売活動における具体的な取り組みはP.9「THKの新たな取り組み」でご紹介しています。

効率的な営業による幅広い顧客向け販売拡大

最適な顧客に最適なタイミングで接し、
THKの良さを的確に伝えるとともに顧客ニーズを汲み取る



各種ITツールによるデータ分析とPDCA

新規分野のさらなる開拓と収益力の向上

産業機器事業（その他）

新規分野への展開として免震・制震装置、医療機器、航空機、ロボット、再生可能エネルギーなどの消費財に近い分野の開拓を進めています。販売・開発活動を積極化させる中、各分野における展示会やコンテストへの参加などを通じて当社製品の優位性をアピールしています。

輸送機器事業

輸送機器事業では、L&S事業のさらなる拡大に向けてTHKリズムとTRAの互いの販売・生産体制を活用した受注活動を展開しています。

加えて、自動車の電動化・自動運転技術の進展により需要拡大が見込まれる自動車向けの直動製品の開発を加速させており、2018年より販売を開始する予定です。

生産面では、工場の相互利用や共同購買などの取り組みにより収益性強化を図っています。

L&S(リンケージ アンド サスペンション)事業の拡大と自動車向け直動製品の開発



L&S事業拡大

2017年1月 THK Europeの自動車部品事業をTRAへ統合



THKリズム・TRA相互の販売・生産体制を活かした受注活動を展開中

電動
ステアリング
部品

次世代
L&S
システム

自動車向け直動製品

次世代
ブレーキ部品

インテリア

2017年 量産ライン検証中

2018年 販売開始予定

電動化・自動化を追い風に自動車向け直動製品の開発を加速

New Products

LMガイド Light SHS-N形



「SHS-N」は中空構造軽量LMレールにより、軽量化を実現したLMガイドです。標準SHS形LMレールに比べ約40%の軽量化を実現しており、機械の高速化・高タクト化に貢献いたします。

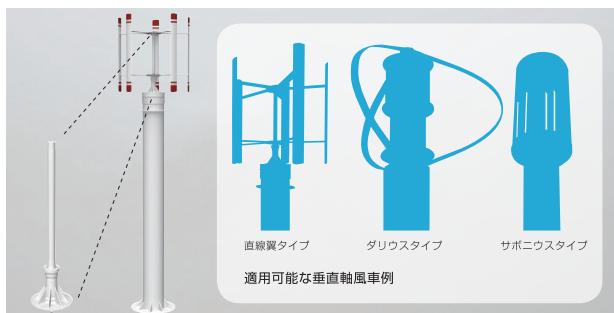


ロボット用クロスローラーリング RF形



「RF」はロボットの軽量化、組付け時間の短縮を実現するフランジ一体型のクロスローラーリングです。従来の取付穴付きクロスローラーリングに比べ軽量化を実現しました。加えて、製品固定用の部品が不要になり、設計工数および部品点数の削減に貢献いたします。

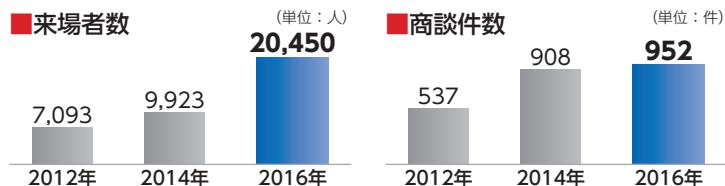
垂直軸風車用 低トルクシャフトユニット WLS



「WLS」は様々な垂直軸風車に適用可能な低トルクシャフトユニットです。独自のメカニズムにより大幅なトルク抵抗軽減を実現しました。加えて、低トルク化により、発電効率の向上に貢献いたします。

▶ 第28回日本国際工作機械見本市 JIMTOF2016に出展

2016年11月17日～22日に東京ビッグサイト(東京・有明)で開催された「JIMTOF2016」に出展し、当社ブースには6日間で国内外から約2万人のお客様にご来場いただきました。コンセプトとして高刚性、高速性、高防塵の3つを掲げ、ナノレベルの精度と超高剛性を誇る8条ガイドやコンパクトかつ幅広いラインナップを取り揃えたDIN規格高速ボールねじ、加えて過酷環境内で優れた防塵性を発揮するオプション品などを紹介し、当社独自の優位性のある製品群を技術部門と営業部門が一丸となってPRいたしました。



▶ ロボットハンドTRX® アカデミックパッケージ 販売開始



ロボットハンドTRXの基本セットを教育機関向けに特別価格にてご提供しております。教育・研究に携わる皆さまにもっと気軽にTRXをご活用いただき、皆さまが思い描く夢の実現に寄与できるよう努めております。

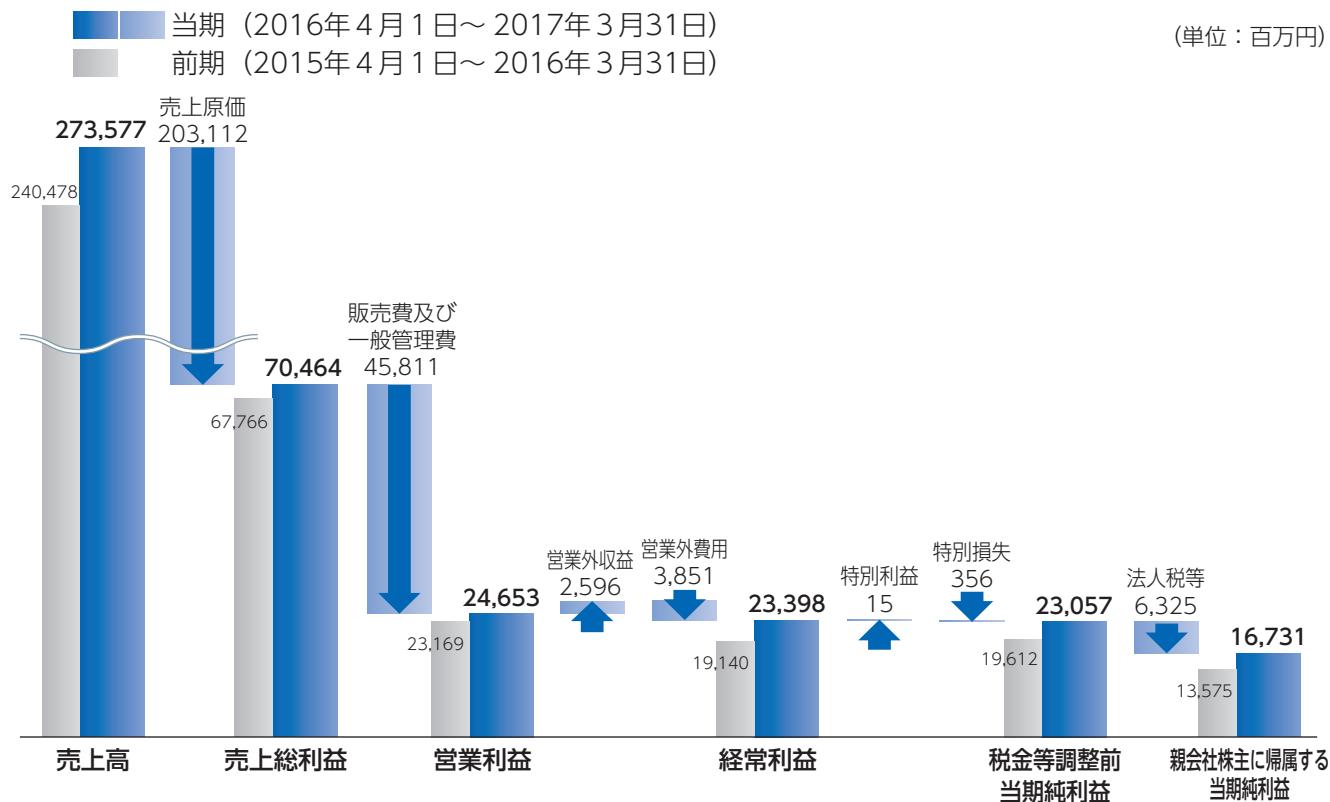
TRXは、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) との共同研究を経て、当社の先端技術を凝縮して作られたロボットハンドです。

人の手の形状をシンプルに再現した3本指のリンク機構で、様々な大きさや形状の対象物を自在につかむことができます。



連結財務諸表 (要旨)

連結損益計算書



売上高

国内では工作機械向けが低位に推移した一方、エレクトロニクス関連の需要が好調に推移し、海外でもアジアを中心に需要は全般的に増加しました。加えて、欧米のTHK RHYTHM AUTOMOTIVE 4社を連結対象としたことなどにより、連結売上高は前期に比べて330億円 (13.8%) 増加し2,735億円となりました。

営業利益

円高の影響を受ける中でも、売上高を増加させたことなどにより、営業利益は前期に比べて14億円 (6.4%) 増加し246億円となりました。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

営業外損益では、営業外収益は、25億円となりました。営業外費用は、為替差損が29億円となったことなどにより、38億円となりました。

これらの結果、経常利益は前期に比べて42億円 (22.2%) 増加し233億円、親会社株主に帰属する当期純利益は31億円 (23.2%) 増加し167億円となりました。

■連結貸借対照表

当期末 (2017年3月31日現在)

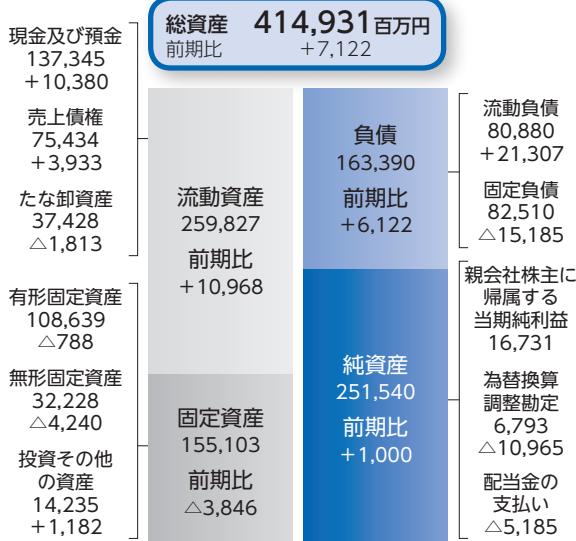
(単位：百万円)

流動資産

流動資産は、前期末に比べ109億円増加し、2,598億円となりました。売上高の増加に伴い売上債権が39億円増加した一方、棚卸資産は18億円減少しましたが、現金及び預金はフリーキャッシュフローなどにより103億円増加しました。

固定資産

固定資産は、前期末に比べ38億円減少し1,551億円となりました。有形固定資産が7億円減少したことに加え、無形固定資産は42億円減少しました。



負債

負債は、前期末に比べ61億円増加し、1,633億円となりました。長期借入金が28億円減少した一方、仕入債務が91億円増加したことが主な要因です。

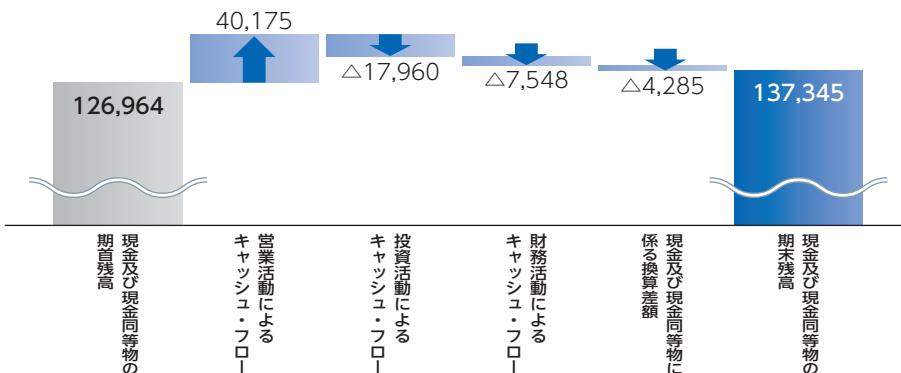
純資産

純資産は、前期末に比べ10億円増加し、2,515億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益が167億円となった一方、配当金の支払いが51億円となったことに加え、為替換算調整勘定が前期末に比べて109億円のマイナスになったことが主な要因です。

■連結キャッシュ・フロー計算書

当期 (2016年4月1日～2017年3月31日)

(単位：百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益230億円、減価償却費131億円、仕入れ債務の増加74億円などにより、401億円のキャッシュ・インとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に固定資産の取得などにより、179億円のキャッシュ・アウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払いや長期借入金の返済により75億円のキャッシュ・アウトとなりました。

そのほか、換算差額により、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて103億円増加し、1,373億円となりました。

THKの新たな取り組み

THKは販売活動における新たな取り組みにより、世界中のお客様へ製品を効率的に供給する仕組みを構築し、さらなる市場の拡大を進めております。

■LMガイドアクチュエータ (SKR/KR) のセミオーダー・短納期サービス開始

2016年8月より日本のお客様を対象に、要望の高い5つのカスタムのセミオーダー化による短納期サービスを開始いたしました。

セミオーダー化による効率的な生産体制を構築したことで、従来からの大幅な納期短縮を実現いたしました。

《対応内容》

- 1.ノック穴 (穴位置・サイズは固定)
- 2.位置決め用金属ボルト
- 3.サブテーブル両側面給脂穴
- 4.表面処理 (AP-C)
- 5.グリース変更 (クリーン環境用AFFグリース)



■新しいビジネススタイル「Omni THK」提供開始

2017年3月よりシンガポール・マレーシア・タイにて、新しいビジネススタイル「Omni THK」の提供を開始いたしました。本サービスは、お客様が時間や場所を問わず、サイト上の簡単な操作で当社製品の選定・購入ができるものです。これにより、当社の営業拠点がない地域のお客様でも、当社製品の選定・購入が可能となります。

今後も同サイトの展開を進め、さらなる新規ユーザーの開拓に繋げてまいります。



■WEB専用サービス 「最適品自動選定ツール」提供開始

2017年1月より「最適品自動選定ツール」の提供を開始いたしました。

本サービスは、発注段階でお客様に生じる形番選定や寿命計算、参考図、CADデータの入手、納期・価格の確認など従来時間がかかっていた作業を、パソコンやスマートフォンから効率よく行っていたためのもので、これにより、製品の選定から発注までの時間を短縮することが可能となります。



会社の概要 (2017年3月31日現在)

■会社概要

商号	THK株式会社 (THK CO., LTD.)
所在地	東京都品川区西五反田三丁目11番6号
設立	1971年 (昭和46年) 4月10日
資本金	34,606百万円
従業員数	3,429名 (THKグループ11,738名)
事業内容	産業用ロボット、NC工作機械、各種半導体製造装置等の産業用機械の高精度化、省力化、高速化を実現する「直動システム」の製造販売、並びに自動車等の輸送用機器部品の製造販売
ホームページ	http://www.thk.com/
会計監査人	太陽有限責任監査法人

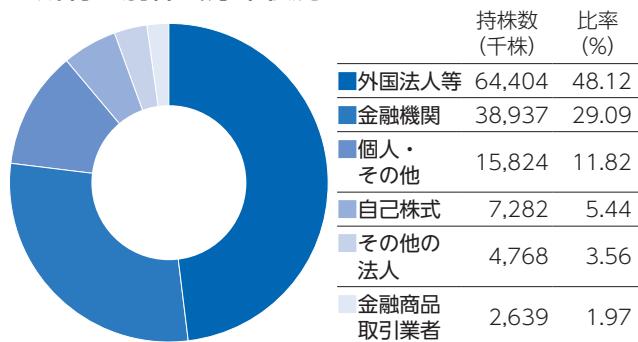
■役員 (2017年6月17日現在)

代表取締役社長	寺町彰博
取締役副社長	寺町俊博
取締役副社長	今野宏
取締役兼専務執行役員	榎信之
取締役兼専務執行役員	寺町崇史
取締役兼常務執行役員	下牧純二
取締役	坂井淳一
取締役(社外)	甲斐莊正晃
取締役(社外) 監査等委員	日置政克
取締役(社外) 監査等委員	大村富俊
取締役(社外) 監査等委員	上田良樹

■株式情報

発行可能株式総数	465,877,700株
発行済株式総数	133,856,903株
株主数	16,493名

■所有者別株式分布状況



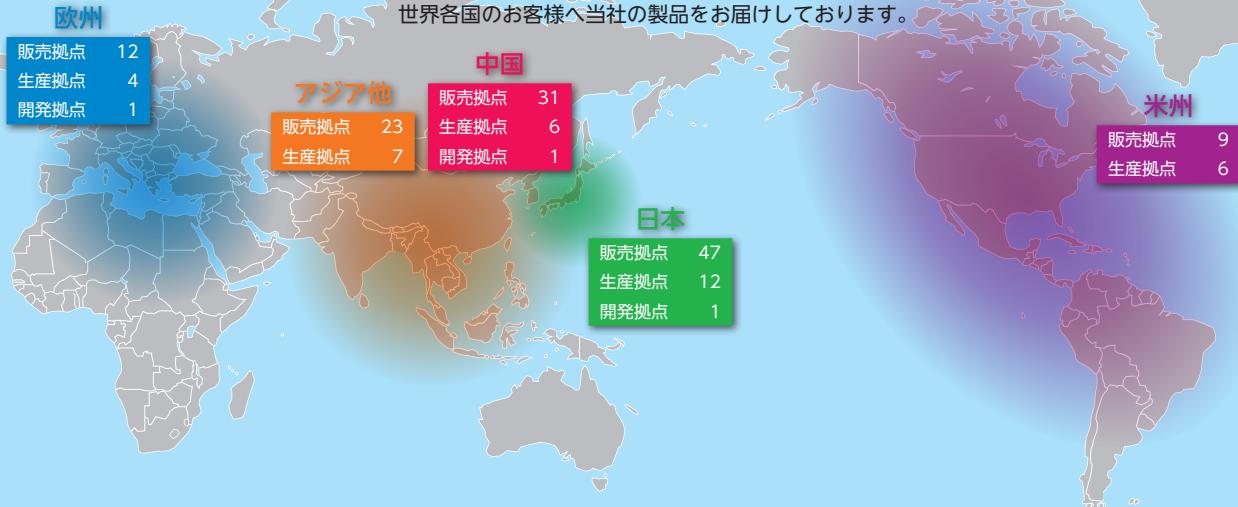
■大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,524	7.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,204	5.38
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,624	3.45
寺町 彰博	3,597	2.68
エフティシー株式会社	2,774	2.07
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	2,762	2.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,595	1.93
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	2,407	1.79
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SSD00	2,354	1.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	1,893	1.41

(注) 上記のほか、当社が保有している自己株式7,282千株 (5.44%) があります。

Global Network

当社は生産拠点35ヶ所、販売拠点122ヶ所を持ち、世界各国のお客様へ当社の製品をお届けしております。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
株主確定日	株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6481
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 http://www.thk.com/jp/ir/

株式に関する お手続きのご案内	<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 特別口座に記録された株式のお問い合わせ ● 株式事務に関する一般的なお知らせ 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) ※手続き書類のご請求は以下の方法でも承っております。 Tel. 0120-244-479 (24時間自動音声応答、通話料無料) http://www.tr.mufj.jp/daikou/ からのダウンロード
	● 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

IR情報ページ「個人投資家の皆様へ」のご紹介

当社Webサイト内IR情報ページには、個人投資家の皆様に深く当社をご理解いただくための情報をまとめたコンテンツ「個人投資家の皆様へ」を設置しています。当社の強みや成長戦略などを分かりやすくご紹介していますので、是非ご活用ください。

IR情報ページ <http://www.thk.com/jp/ir/>

THK IR



THK株式会社



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

